

令和5年度 区のデジタル化の進捗状況等について

「令和5年度 第1回デジタル化推進本部」において決定した「令和5年度 区のデジタル化に向けた取組方針」に基づき実施している区のデジタル化の進捗状況等及び文章生成AI（ChatGPT）の試行導入について、以下のとおり報告する。

1 働き方改革を推進するための情報インフラ環境の再構築

職員へのヒアリングやアンケート等の実施を踏まえ、働き方改革検討部会及び作業部会において検討し、働き方改革を推進するための情報インフラ環境の再構築に当たっての調達方針を定めた。その調達方針の概要及び調達スケジュールは以下のとおり。

○調達方針の概要

主な方針	内容
パソコンの統合・軽量化	<ul style="list-style-type: none">職員が利用する内部業務系パソコンにおいて、財務、庶務事務などの内部情報系システムに加え、テレワークやオンライン会議の利用を可能とし、テレワーク用パソコン等を廃止する持ち運びがしやすい小型・軽量のパソコンに順次入れ替える
コミュニケーション基盤の刷新	<ul style="list-style-type: none">スケジュールの確認やメール、チャット、オンライン会議、ファイルの共同編集等が一体的かつ容易に利用できるコミュニケーション基盤を導入するメールやファイル等のデータ容量の拡張を図り、容量不足を解消する職員が個人で所有するスマートフォンなどから、スケジュール等の確認を可能とする
クラウドサービス等の活用	<ul style="list-style-type: none">災害時の業務継続性や将来的な庁舎改築に備え、クラウドサービスや外部データセンターを活用する
セキュリティ対策の強化	<ul style="list-style-type: none">EDR※の導入等を検討し、セキュリティ対策の更なる強化を図る <p>※EDR…ユーザーが利用するパソコン（エンドポイント）における不審な挙動を検知し、迅速な対応を支援するセキュリティソリューション</p>

○スケジュール（予定）

- 令和6年3月 情報インフラ環境再構築に係る公募型プロポーザルの実施
6月 受託者候補者の決定
7月 契約、構築開始
令和7年3月 試行運用開始
10月 全庁導入

○その他

フレックスタイムなどの勤務時間制度について、他自治体の動向も注視しながら引き続き検討を行う。

2 住民情報系システムの標準化

○「令和5年度第5回デジタル化推進本部」において報告した、国が目標と定める令和7年度までの移行が困難な可能性のあるシステム

- ・就学児童・生徒情報等管理システム
- ・健診（検診）等データ管理システム

○新たに判明した令和7年度までの移行が困難な可能性のあるシステム

- ・児童手当システム
- ・保育システム

令和6年度の児童手当法改正が大規模であり、システム事業者はその法改正に対応するためのシステム改修作業に集中せざるを得ず、それにより標準化システムの開発作業の着手が遅延するため。

○今後の対応

- ・移行が困難な可能性のあるシステムについては、国の動向を踏まえ、システム事業者や各所管と連携・調整を図りながら、適切な移行時期を設定する。
- ・その他のシステムについては、引き続き、システム事業者や各所管と連携・調整を図りながら、なるべく当初に定めた目標時期を目途に、移行に向けて取組を進めていく。

3 文章生成AI（ChatGPT）ツールの試行導入

更なる業務効率化等を図るため、文章生成AI（ChatGPT）ツールを試行導入する。なお、試行導入に当たっては、利用に関するガイドラインを策定し、個人情報や機密情報を取り扱わない運用とするとともに、会話データを学習に利用されない仕組みや個人情報の入力を制御する機能を実装したツールを活用する。

○活用するツール

LoGoチャット（トラストバンク社）

※ChatGPTが利用できるオプション機能「LoGoAIアシスタントbot版」を活用

○範囲

LoGoチャット利用部署952名（令和6年4月からは拡張する予定）

○スケジュール（予定）

令和6年2月 ガイドラインの策定

3月 試行運用開始